

八女手漉き和紙

アトリエ Ki to Te 矢賀部 恭子 展

ごあいさつ

アトリエ Ki to Te は、オブジェ、あかり、間仕切り、アクセサリーなどを制作しています。

八女手漉き和紙が生活の中に彩りを添え、デザイン性のある造形美豊かな作品を目指しています。

この度、九州芸文館において、私の個展を開催していただくことになりました。数多くある八女伝統工芸の中で、八女手漉き和紙による私の作品を発表しますので、是非、この機会に多くの皆様に見ていただけたら幸いです。

矢賀部 恭子

筑後地域は古代から豊かな文化を醸成してきました。九州芸文館は、この文化遺産を発掘し、啓発活動を行っています。開館以来、筑後地区の伝統工芸作家を発掘し、その作品を展示してきました。そして、今回、八女手漉き和紙造形作家の矢賀部恭子氏の展覧会を催します。彼女は伝統工芸である八女手漉き和紙に新しい解釈を加えた作品を多数制作しており、是非ご覧いただきたいと思います。

九州芸文館



「おぶかべ」



「まるあかり」



「プラネット」



「おりなす」



「いちまつ」



「てとららいん」

プロフィール

- 1954. 9 福岡県八女市に生まれる
- 1976. 8 福岡県福島工業試験場（八女市）にて八女手漉き和紙の研修を受ける
- 1977. 3 九州産業大学芸術学部デザイン学科卒業（卒業研究は、八女手漉き和紙の間仕切りを制作）
- 1977. 4 同大学就職、クラフト研究室副手
- 2016. 3 アトリエ Ki to Te オープン「和紙を楽しむわたしの和紙展 2016」アトリエ Ki to Te
- 2016. 11 「和紙を楽しむわたしの和紙展・東京」アトリエ RAUM
- 2017. 3 「アトリエ Ki to Te 手仕事 2017」アトリエ Ki to Te
- 2018. 11 「私の和紙 あかり 2018」アトリエ Ki to Te
- 2019. 11 「和紙を装う 2019」アトリエ Ki to Te
- 2020. 10 「和紙のある暮らし・八女」八女伝統工芸館
- 2021. 10 「和紙のある暮らし・八女 2021」八女伝統工芸館
- 2022. 3 「木・藤・草・紙」四人展 熊本伝統工芸館



九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

お問合せ ちくごJR芸術の郷事業団
(筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館)
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL.0942-52-6435
[九州新幹線・JR鹿児島本線「筑後船小屋駅」徒歩1分]
URL <https://www.kyushu-geibun.jp>



交通案内

- 【JR】九州新幹線「筑後船小屋駅」(博多駅から約25分)より徒歩約1分
鹿児島本線「筑後船小屋駅」(博多駅から快速で約50分)より徒歩約1分
- 【西鉄バス】50番(久留米-高良台-羽犬塚-船小屋)「筑後船小屋前」より約1分
- 【車】九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」より約15分
- 【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)